

# 時計台

## R6年度スタート！「時計台」をリニューアルしました！

令和6年度が始まりました。「子どもたちの幸せの実現」に向け、充実した研修が紙面上で行えるよう今年度も「時計台」を発刊してまいります。

既にお気づきのとおり、歴史ある「時計台」をリニューアルいたしました。従来の4面構成から2面構成に変更し、さらに多くの先生方が**短時間**で読めるスタイルとしました。また、3か月に一度、季節ごとに発刊し、国や本市における教育の話題や最新情報、授業改善のポイントなどを発信してまいります。

さて、新年度がスタートして1か月ほど経過しましたが、学校や教室の様子はいかがでしょうか。子ども達にとって居心地の良い場となっていますでしょうか。忙しい毎日だと思いますが、少し立ち止まって、学校や学年内で現状について共有するとともに、次のアクションを考えてほしいと思います。

教育振興基本計画では、『子ども達のウェルビーイングを高めるには、**教師のウェルビーイング**を確保することが必要である』とされています。また、『職場の心理的安全性が保たれ、労働環境などが良い状態であることが求められる』ともされています。

まずは、職員室でのやりとりから点検し、特に「ことは」に注意を払っていただきたいと思えます。安心して互いに発言しあえる職場環境を整えることが、子ども達が安心して学べる学校への第一歩だと思えます。

総合教育センター所長

山下 拓志郎



## 教室・授業における教師の役割とは

学校においては、教職員同士のプラスの相互作用を促す校内文化の醸成が大切とされています。

校内文化の醸成に向けては、学校管理職やミドルリーダーを中心に、人と人の織り成す相互作用を、プラスの方向に向かって促していく**ファシリテーション能力**が求められています。

これは、学校組織においてのことですが、学級に置き換えてみると、教室においては、教師に**ファシリテーション能力**が求められると云えるでしょう。

ところで、**ファシリテーション**とは何でしょうか。

### 【ファシリテーション】

集団が持つ**知的相互作用を促進**する働き。人が本来もっている力を引き出し、集団の力を最大限に高めていく。相互作用は、プラスにもマイナスにも働き、プラス効果を高め、マイナス効果を抑え込むことが、**ファシリテーター**の役割。

右のことからすると、教師の**ファシリテーション能力**に、子ども達の力は左右されると考えられます。従来の知識を教えるという考え方から、**ファシリテート**するという考え方へのシフトが大切ではないでしょうか。

授業はまさに子どもと教師の協働作業ででき

あがるものです。今一度、教師の役割を見つめ

直して、子どもが学びの主役になっているかを

確認してみてください。



(文責 山下)

# 「デジタルドリル」を活用して個別最適な学びを!!

文責(小野)

## ドリルパークがアップデート!!

- ①小学1~3年 算数 →5分で取り組めるAIドリルを約9300問追加
- ②中学古典 古文・漢文の基礎知識を短時間で攻略できる問題を約120問追加
- ③入試対策問題の導入→学年別・時期別にその時点で解ける約400問の入試問題
- ④中学英語の語句・読解の問題が約1500問追加

子どもの力を伸ばすためにもっとなにかやりたい!もっとそれぞれに最適な問題があればなあ...そんな先生におすすめです。  
中学校の先生は入試対策にも!!

ご存じですか?  
もっと活用したい先生に

## 「ドリル問題作成」を使って先生問題を ~オリジナル問題でも自動添削~

問題を新規登録をクリック!

ドリル問題作成をクリック!

一度作れば同じ問題を何度もつかえます!!  
教科担任の先生にもおすすめ!!  
図形や写真も鮮明に見えます!

問題と答えを入力

## 学級づくりや授業で悩んだら... オンライン相談も実施予定です!

各学校から伊丹市立総合教育センター(担当:近田)までお気軽にご相談ください。  
今年度は**オンライン(ZOOM)**でのご相談も実施予定です。詳細につきましては、後日ご連絡いたします。

### コンサルタントからの一言

「もっと授業がうまくなりたい」「もっとまとまりのある学級をつくりたい」など、多くの若い先生方が、日々の授業づくりと学級経営において、どうしたらよいか悩み迷いながら取り組んでいます。カリキュラムセンターは、そのような先生を応援するところです。  
どうか一人で悩まずにお気軽にお越しください。一緒に考えましょう。

ホームページはこちら



文責(近田)

利用時間	
月・火・木・金曜日	13時~21時 ※長期休業日は9時~17時
水曜日	9時~17時30分
土曜日	9時~17時



後藤先生



西本先生

## カリキュラムセンターから

## 学びつづける先生であるために! 研修を活用しましょう!

教育基本法に「絶えず教員は研究と修養に励む」とあります。簡単に言えば先生は**授業づくり等に励み(研究)、自身も学び続ける(修養)ことが仕事**です。また、「先生が学びを止めない」ことは「子ども達が学び続ける」ことにもつながるのではないのでしょうか。現在は**オンライン等を多様な形態で学ぶ場が増えてきました**。子ども達と学び続ける先生であるために、総合教育センターの研修をご活用ください。

夏季研修については次号で紹介予定です!



伊丹市マスコット たみまる

## 先哲から学ぶ

ソクラテス(ギリシャの哲学者)  
「無知の知」真の知に至る出発点は無知を自覚することにある。

ソクラテスはよく人と問答をして、無知であることの自覚を促したそうです。教室でも、知ってるつもりや分かったつもりがないか問答してみてもいいでしょうか。

文責(山下)

文責(窪田)